

市川房枝 検定クイズに挑戦!

Q1. 次のうち市川房枝はどれ?

①



②



③



Q2. 市川房枝が生涯にわたって婦人解放運動を続ける原点となった存在は誰?

- ①兄・藤市 ②母・たつ ③父・藤九郎

Q3. 市川房枝の父親の職業は?

- ①農家 ②政治家 ③新聞記者

Q4. 市川房枝の父親はどんな人だった?

- ①教育熱心な父親
②子どもに朝から暗くなるまで農作業をさせる父親
③子どもにまったく無関心な父親

Q5. 市川房枝が留学していた兄を頼って一人でアメリカへ行こうとしたのは何歳のとき?

- ①14歳 ②18歳 ③22歳

Q6. 市川房枝が上京した後、ともに「新婦人協会」を設立した相手は誰？

- ①広岡浅子 ②津田梅子 ③平塚らいてう

Q7. 市川房枝が28歳から31歳まで滞在しその後の活動に大きな影響を与えた国はどこ？

- ①ドイツ ②アメリカ ③イギリス

Q8. 市川房枝が獲得のために活動した「ふじんさんせいけん」。正しい書き方はどれ？

- ①婦人参政権 ②婦人賛成権 ③婦人酸性権

Q9. アメリカ滞在時、全米婦人党のリーダー、アリス・ポールが市川房枝におくったアドバイスは？

- ①仕事と活動を両立する
②婦人のための会館をつくる
③婦人参政権獲得に専念する

Q10. 1930年、第1回全日本^{ふせん}婦選大会開催の際に歌われた「^{ふせん}婦選の歌」の作詞者は？

- ①与謝野晶子 ②高村光太郎 ③山田耕筈

Q11. 日本で婦人参政権が実現したのは何年ですか？

- ①1925年 ②1933年 ③1945年

Q12. 女性が初めて投票した1946年の選挙で、市川房枝に思わぬ事態が。それは次のどれ？

- ①かぜをこじらせて選挙に行けなかった
②投票所がボヤで封鎖された
③選挙人名簿に市川房枝の名前が載っていなかった

Q13. 戦後初の衆議院議員選挙で当選した女性は何人？

- ①0人 ②18人 ③39人

Q14. 市川房枝が掲げた「理想選挙」のスローガンで「政治家にしたい人」とは？

- ①「出たい人より出した人」
②「財力のある人より ない人」
③「男性より女性」

Q15. 市川房枝が参議院議員に初当選したのは何歳のとき？

- ①24歳 ②30歳 ③60歳

Q16. 市川房枝が国会議員を務めたのは何年間？

- ①6年間 ②25年間 ③40年間

Q17. 1974年、市川房枝は、ある教科の「男女共修をすすめる会」を結成しました。その教科とは？

- ①家庭科 ②体育 ③音楽

Q18. 市川房枝が語った言葉

「()なくして()なく()なくして()なし」カッコに入る言葉2文字はそれぞれ何？

- ①平和、平等、平等、平和
②平和、平和、平等、平等
③平等、平等、平和、平和

Q19. 晩年、市川房枝が若い世代に繰り返し語っていた言葉とは？

- ①「選挙の上に眠るな」
②「権利の上に眠るな」
③「歴史の上に眠るな」

Q20. 市川房枝は87才でその生涯を閉じました。そのとき彼女は？

- ①引退し、別荘で悠々自適に暮らしていた
②現役の国会議員だった
③後進の指導に専念していた